

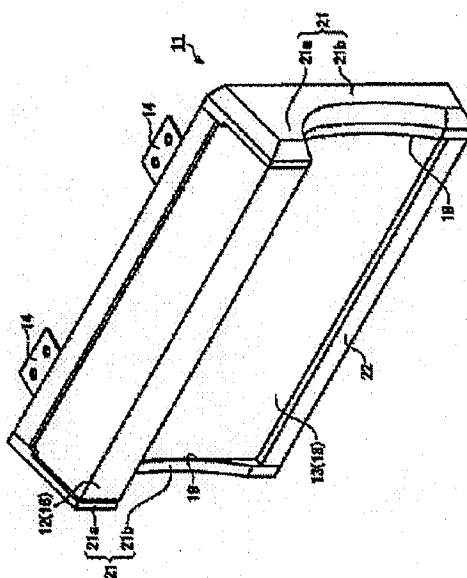
TRANSOM DEVICE FOR GAME MACHINE ISLAND UNIT

Publication number: JP2002028354
Publication date: 2002-01-29
Inventor: MORI FUMIO
Applicant: MORI FUMIO
Classification:
- international: A63F7/02; A63F7/02; (IPC1-7): A63F7/02
- European:
Application number: JP20000216111 20000717
Priority number(s): JP20000216111 20000717

Report a data error here

Abstract of JP2002028354

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a transom device for a game machine which yields unique and original decoration effect along with a function of announcing information related to game. **SOLUTION:** The transom device 11 is provided with a body which is arranged above the game machines installed in a row on a game machine island unit to be free to open or close through a hinge part 14, a plurality of light emitting bodies mounted thereon, electric decoration parts 12 and 13 containing light transmitting cover members covering the light emitting bodies and at least a control means adapted to let the light emitting bodies of the electric decoration parts 12 and 13 emit light in modes (lighting, extinguishing, flickering or other states) corresponding to the condition of the game machines.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-28354

(P2002-28354A)

(43) 公開日 平成14年1月29日 (2002.1.29)

(51) Int.Cl.⁷

A 6 3 F 7/02

識別記号

3 4 9

3 5 0

F I

A 6 3 F 7/02

データベース (参考)

3 4 9 B 2 C 0 8 8

3 5 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号

特願2000-216111(P2000-216111)

(22) 出願日

平成12年7月17日 (2000.7.17)

(71) 出願人 300042971

森 文雄

岐阜県関市神野1847番地3

(72) 発明者 森 文雄

岐阜県関市神野1847番地3

(74) 代理人 100098224

弁理士 前田 勘次

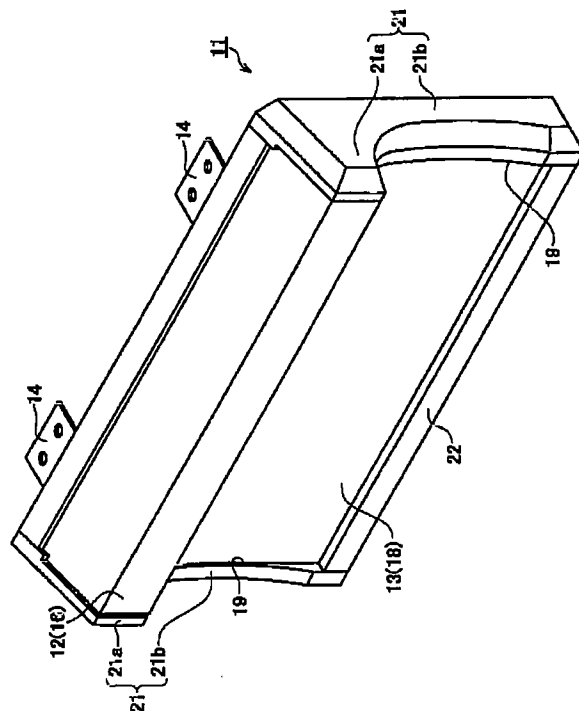
Fターム (参考) 2C088 BC22 EA45

(54) 【発明の名称】 遊技機島台の欄間装置

(57) 【要約】

【課題】 従来になく斬新な装飾効果を発揮するとともに、遊技に係る情報を報知する機能を備えた遊技機島台の欄間装置を提供する。

【解決手段】 欄間装置11は、遊技機島台に列設された遊技機の上方に蝶番部14を介して開閉自在に設けられる本体と、その本体に取り付けられた複数の発光体、及びそれら発光体を覆う光透過性のカバー部材を含む電飾部12、13と、少なくとも遊技記の状況に応じた態様（点灯状態、消灯状態、点滅状態など）で電飾部12、13の発光体を発光させる制御手段とを備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 遊技機島台に列設された遊技機の上方に開閉自在に設けられる本体と、前記本体に取り付けられた複数の発光体、及びそれらの発光体を覆う光透過性のカバーを含む電飾部と、少なくとも前記遊技機の状況に応じた態様で前記電飾部の発光体を発光させる制御手段とを備えることを特徴とする遊技機島台の欄間装置。

【請求項2】 前記電飾部は、通電により発光する複数の第1発光体を有する第1電飾部と、通電により発光する複数の第2発光体を有する第2電飾部とを備え、前記制御手段は、少なくとも前記遊技機の状況に応じた態様で前記各第1発光体への通電を制御するとともに、少なくとも前記遊技機の状況に応じて、通電する前記第2発光体を切り替えるものであることを特徴とする請求項1に記載の遊技機島台の欄間装置。

【請求項3】 前記電飾部は複数設けられており、最上部に位置する電飾部は他の電飾部よりも前方に突出していることを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機島台の欄間装置。

【請求項4】 前記カバーはシートにより構成され、前記本体には前記カバーの両側部が係合される一対の係合溝が設けられ、両係合溝の端部には前記カバーの出入口が設けられていることを特徴とする請求項1～3のいずれか1つに記載の遊技機島台の欄間装置。

【請求項5】 前記カバーには、前記遊技機の遊技内容に関する模様が付されていることを特徴とする請求項1～4のいずれか1つに記載の遊技機島台の欄間装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、パチンコ機やスロットル機などの各種遊技機が列設される遊技機島台において、その上部を装飾するために設けられる欄間装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、パチンコ機やスロットル機など、各種遊技機を設置するための遊技機島台（以下「島台」という）には、その上部を装飾する欄間が設けられている。この欄間は、表面に模様や色彩が施された化粧合板などにより形成され、島台の上部に蝶番などによって開閉自在に取り付けられている。欄間がこのような開閉自在に設けられるのは、パチンコ玉やコインなどの遊技媒体を各遊技機に供給するため島台の内部上方に設けられている供給機構を、普段は外部から見えないように隠すとともに、トラブルが発生したときは、その解消を速やかに行うようにするためである。

【0003】また、島台に列設される遊技機の上方であって、前記欄間よりも下方の位置には、呼出表示装置が設置されている。この呼出表示装置は、遊技客の操作によってランプが点灯又は点滅することにより、遊技に関

するトラブルなどが生じた旨をホールの店員に報知する機能や、遊技機がいわゆる大当り遊技状態となったことなどを、異なる態様で点灯又は点滅して報知する機能を備えている。呼出表示装置がこのような位置に設けられるのは、遊技客にとって操作がしやすく、かつ、その報知を遊技中の遊技客に遮られることなく、遊技機から離れた位置にいるホールの店員から視認可能とするためである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところが、前記従来の欄間では、模様や色彩による装飾に動的変化がなく、装飾効果に乏しいという欠点があった。とりわけ、近年においては、多数の電飾装置を配置して多様な動的表示を行うことにより、高い装飾効果を発揮する遊技機が一般的となっている。このため、遊技機が列設される島台にも同等の装飾効果を発揮させることが、ホール側や客側から望まれている。しかしながら、前記従来の欄間では、このような要望に十分に答えることができなかった。

【0005】また、呼出表示装置が上述した位置に設けられている場合、ホール内が混雑して島台間の通路を他の遊技客が頻繁に往来したりすると、呼出表示装置がその遊技客の頭や体に遮られ、島台の端などにいるホールの店員から見づらくなるという問題があった。このため、店員が呼出表示装置の報知に気付かず、その対応が遅れることもあった。

【0006】そこで、本発明は上記問題を解決するため、従来になかった斬新な装飾効果を発揮するとともに、遊技に関する情報をホールの店員らに報知する機能を備えた遊技機島台の欄間装置を提供することを課題とするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の発明である遊技機島台の欄間装置は、遊技機島台に列設された遊技機の上方に開閉自在に設けられる本体と、前記本体に取り付けられた複数の発光体、及びそれらの発光体を覆う光透過性のカバーを含む電飾部と、少なくとも前記遊技機の状況に応じた態様で前記電飾部の発光体を発光させる制御手段とを備えるものである。ここで、遊技機の状況に応じた態様とは、例えば、点灯状態、消灯状態、点滅状態などが挙げられる。

【0008】請求項1に記載の発明によると、遊技機島台には複数の遊技機が列設されるとともに、その上方には、欄間装置の本体が蝶番などを介して開閉自在に軸支される。このため、島台の内部上方に設けられる遊技媒体の供給機構などにトラブルが発生したときには、該当する箇所の欄間装置を上方に回動させるなどして島台の内部を開放し、速やかにそのトラブルに対処することが可能である。また、欄間装置がこのような高い位置に設けられるため、その電飾部は、離れた位置にいるホール

の店員や客からも容易に視認される。

【0009】欄間装置では、電飾部の発光体が制御手段により制御され、少なくとも遊技機の状況に応じた態様で発光する。別の表現をすると、遊技機の状況が変化すると、その変化にともない発光体の発光の態様も変化する。そして、発光体から照射された光は、それらを覆って保護するカバーを透過する。このカバーを透過し、かつ変化する発光の態様により視覚的な装飾効果が奏されるほか、その態様を見ることにより、対応する遊技機の状況などを認知することが可能となる。

【0010】請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の発明の構成に加え、前記電飾部は、通電により発光する複数の第1発光体を有する第1電飾部と、通電により発光する複数の第2発光体を有する第2電飾部とを備え、前記制御手段は、少なくとも前記遊技機の状況に応じた態様で前記各第1発光体への通電を制御するとともに、少なくとも前記遊技機の状況に応じて、通電する前記第2発光体を切り替えるものである。

【0011】請求項2に記載の発明によると、第1電飾部では、各第1発光体への通電が、少なくとも遊技機の状況に応じた態様で制御され、各第1発光体が点灯、消灯、点滅などする。また、第2電飾部では、複数の第2発光体のうち、通電の対象となる発光体が、少なくとも遊技機の状況に応じて切り替えられる。第2電飾部では、一部の第2発光体が点灯（点滅を含む）し、残りの第2発光体が消灯する。したがって、複数の第2発光体の発光色が複数である場合には、前記通電の対象となる発光体の切り替えにともない、発光色が切り替わる。このように互いに発光の態様が異なる第1電飾部及び第2電飾部の相乗効果により、全体として高い装飾効果が発揮される。また、電飾部の態様の違いが明確化され、遊技機の状況などが確実に報知される。

【0012】請求項3に記載の発明は、請求項1又は2に記載の発明の構成に加え、前記電飾部は複数設けられており、最上部に位置する電飾部は他の電飾部よりも前方に突出しているものである。

【0013】請求項3に記載の発明によると、本体の最上部で前方に突出した電飾部は、その側方や下方といった位置からも容易に視認される。また、電飾部がこのような形状に形成されることで電飾部全体の表面積が広がり、その視認性が一層向上する。

【0014】請求項4に記載の発明は、請求項1～3のいずれか1つに記載の発明の構成に加え、前記カバーはシートにより構成され、前記本体には前記カバーの両側部が係合される一対の係合溝が設けられ、両係合溝の端部には前記カバーの出入口が設けられているものである。

【0015】請求項4に記載の発明によると、シートにより形成されたカバーは、その左右両側部が両係合溝に係合されることにより、発光体を覆う。このカバーは出

入口を通じて両係合溝から抜き出されると、本体に取り付けられた発光体が現れる。また、新たなカバーが出入口を通じて両係合溝に差し込まれると、本体に取り付けられる。この際、係合溝が湾曲するなどして、非直線状でなくても、このシートが可撓性を有していれば、その湾曲形状に沿って撓む。

【0016】請求項5に記載の発明は、請求項1～4のいずれか1つに記載の発明の構成に加え、前記カバーには模様が付されているものである。模様としては、例えば、遊技機の遊技内容に関する図、文字、数字などが挙げられる。

【0017】請求項5に記載の発明によると、カバーに照射される発光体の光によってその模様が浮かび上がったように見え、新たな装飾効果が発揮される。また、カバーが、模様の異なるカバーに交換された場合には、その交換にともない発光体の光によって浮かび上がる模様の種類も変わる。

【0018】

【発明の実施の形態】以下、本発明を遊技機島台の欄間装置に具体化した一実施形態につき、図に基づいて詳細に説明する。図4は、欄間装置が設置される遊技機島台（以下「島台」という）の概略を示す部分正面図であり、図5は、そのB-B間を破断して概略を示す部分断面図である。

【0019】島台23は略直方体状に形成され、その長手方向の中央前後面に遊技機としての複数のパチンコ機24が背向して列設されている。パチンコ機24の内部には、遊技機制御装置及び不正検知装置が設けられている。遊技機制御装置は、パチンコ機24の各種遊技状態、例えば、遊技客に有利な大当たり遊技状態などの特別遊技状態を発生させ、あるいはその大当たり遊技状態を発生させる確率が高く設定された確率変動状態を発生させるなど、パチンコ機24の各種遊技状態を制御する機能を備えている。一方、不正検知装置は、パチンコ機24の窓枠の不正開放や、振動、磁石又は電波などによる各種不正行為を検知する機能を備えている。

【0020】各パチンコ機24の上部には呼出表示装置25が設けられている。呼出表示装置25には操作ボタン及び表示ランプが備えられ、遊技客が操作ボタンを操作すると表示ランプが点灯又は点滅するように構成されている。このように、呼出表示装置25は、遊技に関するトラブルなどが生じた旨をホールの店員に報知する機能を備えている。

【0021】島台23の内部上方には、パチンコ機24にパチンコ玉を供給するための供給機構が設けられている。なお、図5においては島台23の内部構成を省略しているが、周知のように、その下部にパチンコ機24で使用するパチンコ玉を回収する回収経路と、その中央に回収されたパチンコ玉を揚送する揚送装置と、その上部に揚送されたパチンコ玉を各パチンコ機24に分配供給

する供給経路とが、それぞれ設けられている。

【0022】前記島台23において、各呼出表示装置25の上方には、パチンコ機24に対応して欄間装置が設けられている。図1は欄間装置の本体を示す斜視図である。また、図2は欄間装置の本体の一部を破断して示す部分正面図であり、図3はそのA-A間を破断して示す部分断面図である。

【0023】図1に示すように、欄間装置はパチンコ機24と略同じ横幅を有する本体11を備え、この本体11は蝶番部14により島台23に開閉自在に支持されている。本体11の左右両側部21は、その中下部を占める幅狭部21bと、最上部を占め、かつ幅狭部21bよりも前方へ突出する幅広部21aとからなる。幅広部21aの下部は後方へ湾曲して幅狭部21bに滑らかにつながっている。本体11において両側部21に挟まれた箇所、すなわち、本体11の略全体を占める部分には複数の電飾部が設けられている。ここでは、電飾部は、両幅広部21a間に位置する第1電飾部12と、両幅狭部21b間に位置する第2電飾部13とからなる。

【0024】図2に示すように、第1電飾部12は、通電により発光する複数の第1発光体としてのLEDランプと、第1カバー16とを備えている。複数のLEDランプは、上下左右に規則性をもって配置されており、ここでは、上列、中列、下列の3つのグループに分けられている。上列では、発光色が緑色であるLEDランプ15aが、本体11の略全幅にわたって等間隔で配置されている。中列では、発光色が赤色であるLEDランプ15bが、本体11の略全幅にわたって等間隔で配置されている。下列では、発光色が青色であるLEDランプ15cが、本体11の略全幅にわたって等間隔で配置されている。第1カバー16は、無色透明で硬質な合成樹脂によって断面略コ字形に形成されている。第1カバー16は、全LEDランプ15a、15b、15cを覆った状態で、本体11にビス等の締結部品によって取り付けられ、これらを保護している。なお、第1カバー16がこのように無色透明の材料で形成されているのは、LEDランプ15a、15b、15cの各色の光をそのまま透過させるためである。

【0025】一方、第2電飾部13は、通電により発光する複数の第2発光体としての直管型のネオン管と、第2カバー18とを備えている。複数本のネオン管は、互いに上下に離間した位置に横向きに配置されている。ここでは、発光色が白色であるネオン管17aと、その下側に位置し、かつ発光色が青色であるネオン管17bとが用いられているが、一例にすぎない。

【0026】第2カバー18は、無色透明の前シート18aと、光透過性を有する乳白色の後シート18bと、それらの間に位置する中間シート18cとからなる3層構造を採っている。前後両シート18a、18bは、いずれも合成樹脂によって薄板状に形成されており、ある

程度の硬度と可撓性とを有している。なお、3層構造のうちの1層を乳白色の後シート18bによって構成したのは、欄間装置の外部から第2電飾部13の内部構造を見えにくくし、各ネオン管17a、17bの色の光をなるべく損なわないで透過させるためである。中間シート18cは前後両シート18a、18bよりも薄く形成され、硬度も低く、それ自体で形状を保持する機能を有していない。中間シート18cの表面にはパチンコ機24の遊技内容に関する模様29、例えば、表示装置で表示される左・中・右の図柄の組み合わせが印刷等によって付されている。図柄としては、例えば、キャラクタ、文字、数字等が挙げられる。また、パチンコ機24の機種名や、ホール名などが模様とされてもよい。

【0027】第2カバー18は、ネオン管17a、17bを覆った状態で両側部21に脱着可能に取り付けられ、これらを保護している。詳しくは、各側部21の内側前部において、幅狭部21bと、幅広部21aの下部に対応する箇所には係合溝19が形成されている。各係合溝19は、第2カバー18の厚みよりも若干広い幅を有している。各係合溝19は、幅広部21aと幅狭部21bとの境界部分では、後方へ緩やかに湾曲している。各係合溝19の上端部は開放されており、ここが第2カバー18の出入口20となっている。なお、この出入口20は、第1カバー16が本体11に取り付けられたときに、その第1カバー16によって閉鎖される。

【0028】図6のブロック図に示すように、欄間装置11は、制御手段としての制御装置26を備えている。制御装置26には、前述したLEDランプ15a～15c及びネオン管17a、17bが電気的に接続されるとともに、呼出表示装置25、不正検知装置28及び遊技機制御装置27が電気的に接続されている。制御装置26の制御内容の1つに、LEDランプ15a～15c及びネオン管17a、17bへの通電を制御することが挙げられる。制御装置26は、LEDランプ15a～15cに関しては、少なくともパチンコ機24の状況に応じた態様で通電を制御する。また、ネオン管17a、17bに関しては、通電する対象を、少なくともパチンコ機24の状況に応じて切り替える。

【0029】例えば、パチンコ機24が通常の状態にあるときには、制御装置26は、第1電飾部12に関しては、上・中・下の各列の各LEDランプ15a、15b、15cへの通電を断続し、第2電飾部13に関しては、ネオン管17aに通電し、ネオン管17bへの通電を停止する。すると、第1電飾部12では、上列の緑色のLEDランプ15a、中列の赤色のLEDランプ15b、下列の青色のLEDランプ15cが規則的に点滅し、第2電飾部13ではネオン管17aが白色で点灯し、ネオン管17bが消灯する。

【0030】パチンコ機24で大当たり状態などの特別遊技状態が発生すると、制御装置26は、第1電飾部12

に関しては、上・中・下の各列の全てのLEDランプ15a, 15b, 15cへの通電を断続し、第2電飾部13に関しては、ネオン管17aへの通電を停止し、ネオン管17bに通電する。第1電飾部12では、全てのLEDランプ15a, 15b, 15cが同期して点滅し、第2電飾部13では、ネオン管17aが消灯し、ネオン管17bが青色で点灯する。なお、大当たり状態以外にも、パチンコ機24の各種遊技状況、例えば確率変動状態が発生したときや、大当たり状態の発生回数が所定値を超えたときなどにも、電飾部12, 13を異なる態様で発光させてもよい。

【0031】遊技客によって呼出表示装置25の操作ボタンが操作されると、制御装置26は、ネオン管17bへの通電を停止したままで、ネオン管17aへの通電を断続する。すると、第2電飾部13ではネオン管17aが白色で点滅する。また、パチンコ機24の不正遊技が不正検知装置28により検知されると、制御装置27は、ネオン管17aへの通電を停止し、ネオン管17bへの通電を断続する。すると、第2電飾部13では、ネオン管17aが消灯し、ネオン管17bが青色で点滅する。

【0032】このように、本実施形態の遊技機島台の欄間装置11によれば、模様や色彩による装飾に動的変化がなく装飾効果に乏しい従来の欄間とは異なり、LEDランプ15a, 15b, 15c及びネオン管17a, 17bに対する通電を制御して、点灯、消灯、点滅などの多様多彩な態様にすることにより、動的変化を伴った斬新な装飾効果を発揮させることができる。これにより、遊技客の遊技に対する意欲を高めることができる。

【0033】また、パチンコ機24の遊技状況などに応じて電飾部12, 13の態様を異ならせることにより、ホールの店員に対してパチンコ機24の遊技状況などを明確に視覚的に報知することができる。別の表現をする、両電飾部12, 13の態様を見た店員は、その欄間装置11の直下のパチンコ機24がどのような遊技状況になっているかを即座に把握することができる。同様に、店員などは、呼出表示装置25の操作ボタンが操作されたこと、不正行為がなされたことなども即座に認知し、それぞれの状況に応じた対応を迅速にとることができる。

【0034】本実施形態は、上述した事項以外にも次の特徴を有する。

(a) 島台において玉詰まりなどのトラブルが発生したときは、図5に示すように、蝶番部14を支点として欄間装置11を前上方に回動させて開放することにより、そのトラブルの解消を速やかに行うことができる。

【0035】(b) 各欄間装置11は島台23の上部という高い位置に設けられ、しかもその大部分が電飾部12, 13によって占められていて、発光面積が広い。このため、パチンコ機24から離れた位置にいるホールの

店員や客からも、各欄間装置11の電飾部12, 13を容易に視認することができる。この効果は、ホール内が混雑して島台23間の通路を遊技客が頻繁に往来していても同様である。

【0036】特に、第1電飾部12が前方へ突出していることから、島台23の端など側方の位置にいるホールの店員や客からも容易に視認することができる。また、第2電飾部13が後方に湾曲して形成されているため、平板状に形成される場合よりも表面積が広くなり、側方にいる店員のみならず、下方に位置する遊技客からも見やすくなる。

【0037】(c) 第1電飾部12と第2電飾部13とは、発光の態様が異なっている。すなわち、第1電飾部12では、全てのLEDランプ15a, 15b, 15cが通電の対象となっている。通電が断続されている期間には、厳密には通電が停止されている状態が起こっているが、それは短時間である。通電が一定の時間にわたって停止されることはない。これに対し、第2電飾部13では、ネオン管17a, 17bに対する通電対象が選択的に切り替えられる。

【0038】したがって、第1電飾部12では、各列のLEDランプ15a, 15b, 15cが点灯したり、順に点滅したり、一斉に点滅したりするのに対し、第2電飾部13では、例えば一方のネオン管17aが点灯又は点滅しているときは、他方のネオン管17bは点灯されない。同時に複数の色で発光することがなく、白色及び青色のいずれかの色で発光する。発光色の違いによって、遊技機の各状況を明確に区別して報知することができる。このように、欄間装置11は発光の態様が異なる2つの電飾部12, 13を備えることから、その相乗効果によって高い装飾効果を発揮することができる。

【0039】(d) 前後両シート18a, 18b間に、模様29の付された中間シート18cが挟み込まれているので、その模様が内部のネオン管17a, 17bから照射される光によって浮かび上がり、新たな装飾効果を発揮させることができる。

【0040】(e) 第2カバー18の模様29を変更することができる。変更の際には、本体11から第1カバー16を取り外す。すると、第1カバー16によって閉鎖されていた係合溝19の出入口20が開放される。それまで装着されていた第2カバー18（前後両シート18a, 18b及び中間シート18c）を上方向へ押し上げるか、又は引き上げて、出入口20を通じて係合溝19から外す。そして、それまでとは異なる模様の付された別の中間シートを前後両シート18a, 18b間に入れて3層構造とし、前記と逆の作業を行う。すなわち、第2カバー18の左右両側部を、出入口20を通じて左右両係合溝19に差し込む。この差し込みの際には、第2カバー18が係合溝19の形状に沿って撓む。第2カバー18の下端部が本体11の底部22に当接すると、ネ

オン管17a, 17bが前方から第2カバー18によって覆われる。そして、第1カバー16を本体11に取り付けると、出入口20が閉鎖され、第2カバー18が取り外し不能となる。

【0041】このように、第2カバー18が脱着可能であることから、中間シートを交換して模様を変更することができる。しかも、その変更は、第2カバー18に係合溝19から外したり、入れたりするという非常に簡単な作業ですむ。したがって、例えば、パチンコ機24の機種を変更する際には、その島台23の欄間部の装飾を新しい機種にあわせて容易に変更することができる。また、中間シートを交換するのみでよく、前後両シート18a, 18bに関しては再度使用できる。

【0042】(f) 前記模様の変更に際しては、それまでの中間シート18cを抜き出した後、新たな中間シートを用いることなく、前後両シート18a, 18bのみによって第2カバー18とし、これを左右両係合溝19に係合させてもよい。このようにすると、ネオン管17a, 17bから照射された光は、後シート18b及び前シート18aを透過するため、遊技客などには、ネオン管17a, 17bの発光色に後シート18bの乳白色が加わった色(淡い青色など)が見えることになる。

【0043】(g) 合成樹脂によって薄板状に形成された前シート18aは、ある程度の硬度を有しているため、模様の付された中間シート18cの保護シートとして機能する。なお、前シート18aは無色透明であるので、中間シート18cの模様29の視認性を低下させるおそれはない。

【0044】(h) 発光体としてのLEDランプ及びネオン管は、設置スペースや消費電力の点で有利に使用することができる。このため、欄間装置の小型化や省電力化に寄与することができる。また、これらの発光体は耐久性に優れるため、欄間装置をほぼメンテナンスフリーの装置として構成することができる。

【0045】(i) 第2カバー18の一構成部品として、薄板状をなし可撓性を有するシートを用いているので、係合溝19が前記のように湾曲していても、その形状に合わせて撓ませ、確実に係合溝19に係合させることができる。

【0046】ところで、本発明の遊技機島台の欄間装置は、上述した実施形態に限定されるものではなく、例えば、次に記す別の実施形態に具体化することができる。

【0047】(1) 制御装置26は、さらに他の種類の信号に応じて電飾部12, 13の発光体を制御するようにしてもよい。例えば、図6に示すように、欄間装置11の制御装置26と、隣接する他の欄間装置11の制御装置26とを電氣的に接続することにより、複数の制御装置26を直鎖状に接続する。そして、1つの欄間装置11の制御装置26から、接続された全ての欄間装置11の制御装置26に信号を送り、これら全ての欄間装置

11で電飾部12, 13の発光体を発光させる。

【0048】より具体的に説明すれば、例えば、パチンコ機24で大当たり遊技状態が発生し、その旨を伝達する信号が遊技機制御装置27によって対応する欄間装置11の制御装置26に送られたときには、その制御装置26は自身の電飾部12, 13の発光表示を制御すると同時に、島台23に列設された他の欄間装置11の制御装置26に対して信号を送るようにする。そして、その信号を受けた制御装置26は、それぞれの第1電飾部12の発光体を点滅させ、島台23に列設された各欄間装置11の間で、その点滅表示が左右に流れて見えるように制御する。このようにすれば、大当たり遊技状態の発生をホール内の広範囲に知らしめることができる。そして、遊技客の満足度を一層高めることができるとともに、ホールのサービス状況を他の遊技客に広くアピールすることができる。

【0049】また、各欄間装置11の制御装置26をホール側のコンピュータに接続して相互に信号をやりとりし、このコンピュータによって、各欄間装置11間での電飾部12, 13での発光を連動(同期)させてもよい。

【0050】(2) 欄間装置11は、パチンコ機24以外の遊技機、例えば、スロットル機などの各種遊技機が列設される島台に設けられてもよい。とりわけ、スロットル機が設けられるホールでは、その島台付近の照明を暗めに落としていることが多いため、欄間装置による装飾効果が一層際立って発揮される。

【0051】(3) 電飾部の数を1又は3つ以上に変更してもよい。また、各電飾部に用いる発光体の種類を変更してもよい。例えば、電飾部の数を1つとし、その発光体として、LEDランプ又はネオン管のいずれか1種類のみを用いてもよい。もちろん、電球や蛍光灯など他種類の発光体を用いても差し支えない。また、各電飾部の発光体に関し、その色種や色数、あるいはその配置などの構成を変更してもよい。例えば、ホール内の島台ごとに、発光体の構成を異ならせた欄間装置を設けることにより、それぞれの島台の差別化を図ることができる。

【0052】(4) 欄間装置11を横手方向に複数台連結した状態で、島台23に設置してもよい。従来の欄間は遊技機2〜3台分の横幅を有する板状に形成されたものが多く、このようにすれば、従来の欄間に合わせて設計された島台にも、本実施形態の欄間装置11をそのまま適用することができる。

【0053】(5) 制御装置26による通電制御により、光の色を変えたり、明るさを変えたりしてもよい。また、点滅状態において、点灯時間及び消灯時間の比を可変とし、点滅の間隔を変えてもよい。

【0054】

【発明の効果】以上のように、請求項1に記載の発明によれば、遊技機島台の内部のメンテナンス性を損なうこ

となく、その島台の上部に従来にない斬新な装飾効果を発揮させることができる。また、遊技機の遊技に関する情報を視認が容易な態様でホールの店員らに報知することができる。

【0055】請求項2に記載の発明によれば、請求項1に記載の発明の効果に加え、その装飾効果を一層高めることができる。また、遊技に関する情報などを明確に報知することができる。

【0056】請求項3に記載の発明によれば、請求項1又は2に記載の発明の効果に加え、遊技機島台の端などの側方や下方からも電飾部を見やすくすることができる。これにより、その装飾効果や報知機能を向上させることができる。

【0057】請求項4に記載の発明によれば、請求項1～3のいずれか1つに記載の発明の効果に加え、カバーの取付け、取外し及び交換を簡単に行うことができる。

【0058】請求項5に記載の発明によれば、カバーに付した模様を浮上がったように見せることで、新たな装飾効果を発揮させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態である遊技機島台の欄間装置を示す斜視図である。

【図2】本発明の一実施形態である遊技機島台の欄間装置を、その一部を破断して示す部分正面図である。

【図3】本発明の一実施形態である遊技機島台の欄間装置を、A-A間を破断して示す部分断面図である。

【図4】本発明の一実施形態である遊技機島台の欄間装置を設置した遊技機島台の概略を示す部分正面図である。

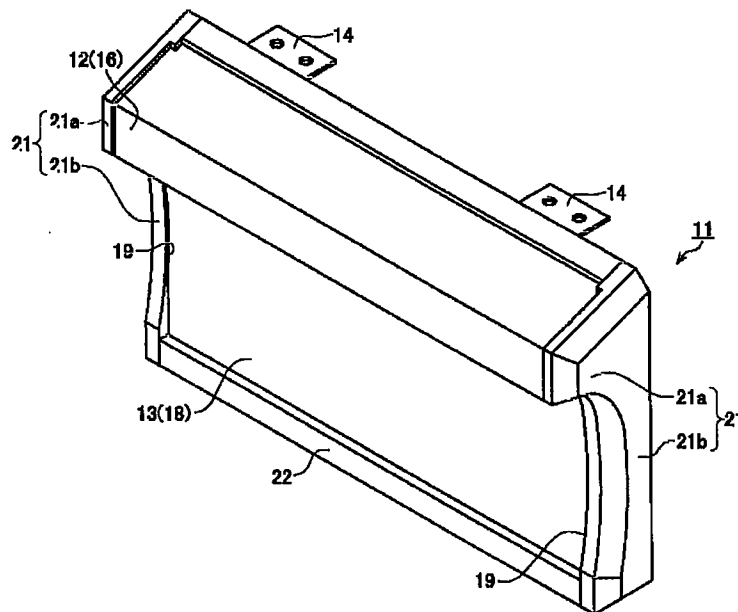
【図5】本発明の一実施形態である遊技機島台の欄間装置を設置した遊技機島台を、B-B間を破断してその概略を示す部分断面図である。

【図6】本発明の一実施形態である遊技機島台の欄間装置の電氣的構成を示すブロック図である。

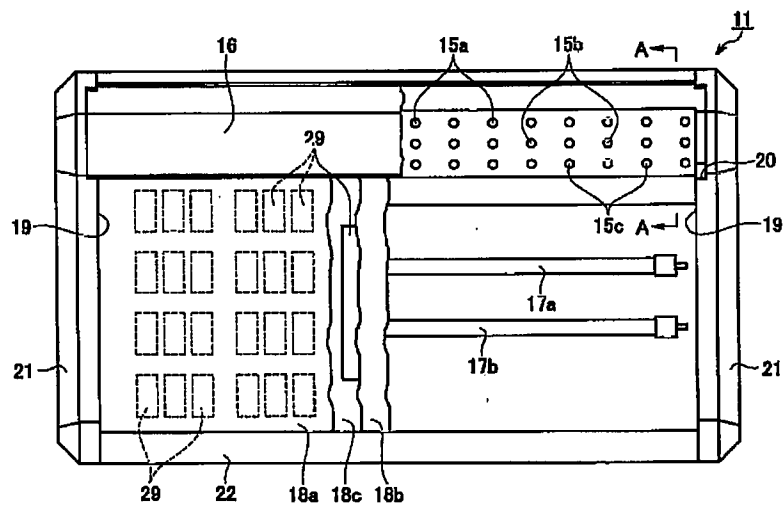
【符号の説明】

- 11 欄間装置（本体）
- 12 第1電飾部
- 13 第2電飾部
- 14 蝶番部
- 15a, 15b, 15c LEDランプ
- 16 第1カバー
- 17a, 17b ネオン管
- 18 第2カバー
- 19 係合溝
- 20 出入口
- 23 遊技機島台
- 24 パチンコ機
- 26 制御装置

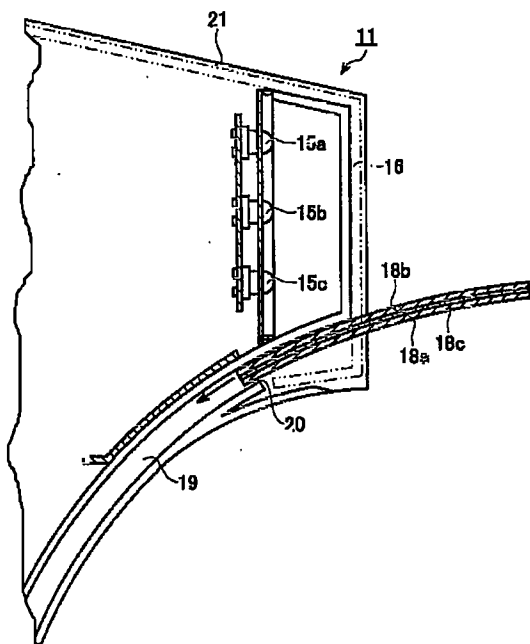
【図1】



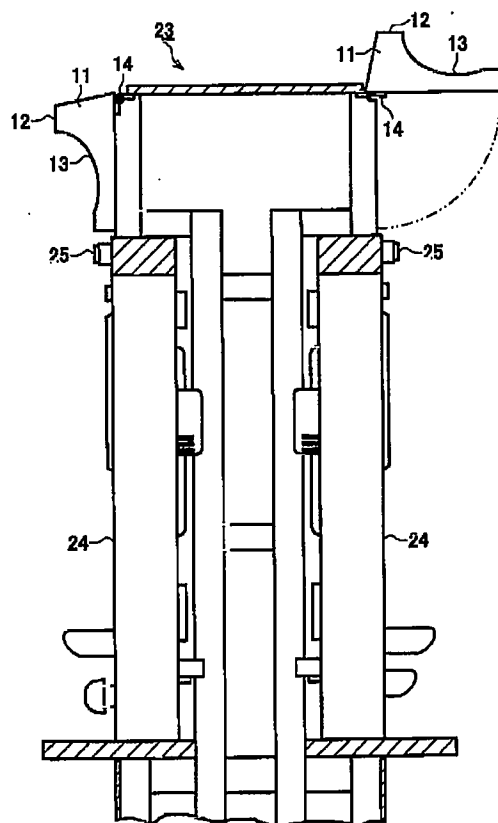
【図2】



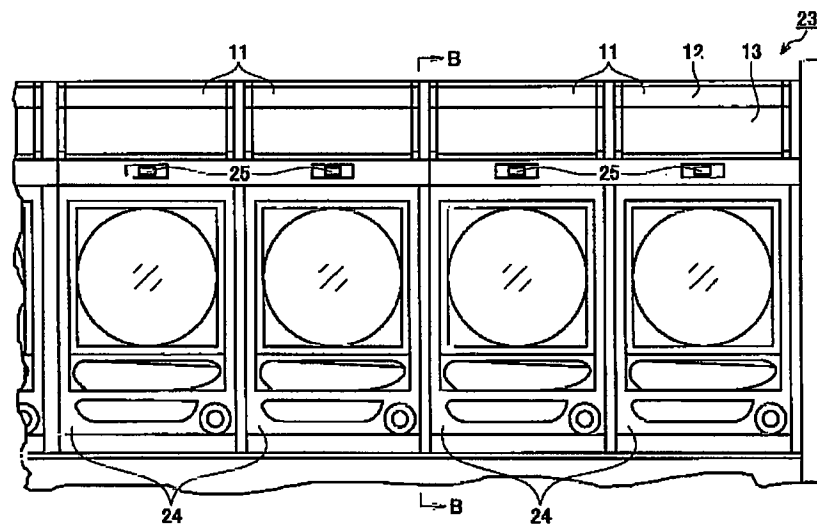
【図3】



【図5】



【図4】



【図6】

